

スクールプロジェクト展開 10 か国目 メキシコでリコーダーを用いた音楽教育を試験導入 コロンビア・メデジン市に試験導入を拡大

ヤマハ株式会社（以下、当社）が支援する、メキシコ合衆国（以下、メキシコ）でのリコーダーを用いた音楽教育のパイロット授業が、2025年2月に開始されました。本パイロット授業は、2024年11月にメキシコ州教育科学技術革新省（Secretaría de Educación, Ciencia, Tecnología e Innovación）と締結された音楽教育を通じた非認知能力の育成に関する協力覚書に基づくもので、メキシコ州公立初等学校 18 校の正規授業内で第 4 学年の児童 1,140 名を対象に実施されます。



メキシコでの授業

当社は、2015年より新興国を中心に音楽・器楽を通じた教育のメリットを世界各地の音楽教育現場に広める「スクールプロジェクト」を展開しています。これまでに本プロジェクトを通して9か国（マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、ブラジル、アラブ首長国連邦、エジプト、コロンビア、フィリピン）累計422万人（2024年12月末）の子どもたちに音楽・楽器演奏を楽しむ機会を提供してきました。このたび試験導入するメキシコは、10か国目の展開国です。

また、2024年6月から試験導入を開始しているコロンビアでは、2025年2月より、国内第2の規模を誇るメデジン市の公立初等学校6校において、第4学年の240名の児童を対象に活動を拡大します。コロンビアでの活動は、文部科学省による「令和5年度第2回日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト」に採択されており、在コロンビア日本国大使館・現地地方教育局などの関係機関と成果や課題について検証・共有しながら日本型教育の展開を進めています。



コロンビアでの授業

<スクールプロジェクトについて>

本活動では、持続可能な開発目標（SDGs）の目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」、目標16「平和と公正をすべての人に」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」への貢献、音楽教育を通じた子どもたちの非認知能力の育成、そして各国の教育事情に寄り添った音楽の普及活動におけるビジネスモデルの策定を目指します。

スクールプロジェクト公式サイト：<https://www.yamaha.com/ja/stories/culture/school-project/>

ヤマハニュースリリース（2024年12月20日）フィリピンでリコーダーを用いた音楽教育を試験導入、メキシコでは音楽教育協力の覚書を締結 https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24122002/（2024年6月18日）コロンビアの公立校でリコーダーを活用した音楽教育の試験導入を開始 https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24061802/

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：藤原

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）